

UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内

電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776

E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 43 号

平成17年(2005年) 3 月

▶久保田市長・上林会長と固い握手
を交わすモイヤー代表(中央)。



モイヤー氏は、カナダの都市と友好都市交流を行っている日本各地の都市を回り、愛知万博のカナダ・パビリオン(カナダ館)のPRをされており、その一環として、同国

カムループス・デーは 7月14日・15日

三月二十五日(金)に開会した日本国際博覧会(愛知万博)の、カナダ政府代表であるノーマン・モイヤー氏が、去る二月四日に来宇。宇治市役所を表敬訪問して、久保田市長と当協会の上林会長に、カナダ・パビリオンを紹介し、宇治市の皆さんも多数お越しく下さいと呼びかけました。

愛知万博カナダ政府代表が来宇

カナダ館でカムループス・デー行事を計画

のカムループス市と友好交流を続けている宇治市を来訪。

懇談の中で同氏は、カナダ館では七月十四日(木)・十五日(金)をカムループス・デーと位置付けていることを表明。その両日には、同市に多彩な催しをしよう予定ですから、多くの宇治市の皆さんのご来場をお待ちしています、と話されました。

これに対し、久保田市長と上林会長からは、同市から協力要請があれば、前向きに検討していきたいとの返答がありました。

☆ ☆ ☆

同氏によると、カナダには、日本の都市と友好交流している都市が七十ほどあるので、カムループス・デー以外にも、

そうした都市の日(デー)を設け、日本各地の皆さんにカナダ館を訪ねてもらい、カナダをより深く理解してほしいとのこと。

更に、カナダは愛知万博への参加を、最初に決定した国です。カナダ館では、建築デザインや双方向展示、マルチ感覚体験を通じて、館のテーマである「多様性の叡智」を感じていただけるでしょう。

開催期間中には、いろんなカナダ人アーティストが、カナダ館で文化プログラムを実施しますので、大いに楽しんでもらうことができます、とも話されています。

カムループス市訪問団 同時期に来訪の予定

宇治市によると、カムループス市では、このカムループス・デーに合わせて、同市の公式訪問団を宇治市に派遣することで調整を進めています。カムループス・デーの内容は、まだ同市で検討中です。

とのこと。



▲3月5日には、カナダ館でハイテク・ホストを務めるテク人が来宇。市内商業施設の店内で、宇治市の皆さんも来て下さいと呼びかけました。

当協会では、友好都市からの公式訪問団が来訪された際には、協会としての交流事業を実施していますので、十七年度については、カムループス・デーへの取り組みと合わせて、宇治市と連携を取りながら、どのような対応ができるか検討を進めます。

☆ ☆ ☆

カナダ館の情報は同館のホームページをご覧ください。ホームページアドレスは下記のとおり(日本語版もあります)。

宇治市や当協会のホームページからリンクすることもできます。

愛知万博カナダ・パビリオンのホームページ

www.expo2005canada.gc.ca

ではまかないきれなくなり、それが迅速な支援活動の妨げになることもあり得る。

* * * * *

物資が確保できたら、次は、これらの物資を「ケア・パッケージ」に仕分ける作業がある。物資を効率的かつ確実に家族単位で配布するためである。緊急事態には大量の物資を処理しなければならず、スピードが命である。現地に250人以上のスタッフを抱えるケアのような大規模な国際 NGO でも、家族、友人、隣人などの善意のボランティアの力を借りることになる。

ボランティアとして活動する人の中には、この惨事で親戚や友人を亡くした人もいる。パティカロア州のケア事務所を訪れた際、休む間も食事を取る間も惜しんで物資の仕分け作業に熱中する多くの若者たちの姿を見て胸が熱くなった。夜中になると事務所の床で仮眠をとり、明け方になると再度作業にとりかかるのである。

* * * * *

何百人もの世帯が避難している仮設キャンプ(避難センター)はへき地にあり、そこまでの道は往々にしてデコボコで、幅も狭く、舗装されていない。そして、これでもかと言わんばかり、数日間、豪雨が降り続いた。津波で壊れてしまった道路は完全に浸水してしまった。

* * * * *

途中、別の物資の配給現場に遭遇した。興奮気味の男性たちが我先に物資をもらおうと、互いを押しのけ、トラックの後ろから投げられるパンをつかもうと躍起になっている。あまりにも無残な光景で

あった。

* * * * *

援助、特に緊急援助の場合、行っていることのすべてが良いことだと思われがちである。食べ物ももらっているのだから、どうして文句を言うことができるのか、素直にありがたく思うべきだろうと。

しかし、私はどうしてもそのように感じることはできなかった。

大柄な若者が3斤のパンを得意そうに抱えていくのを、手に何も持たずにじっと黙って見ていた老人の姿を目にしたときには…

* * * * *

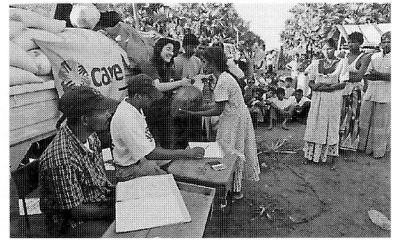
ケアのスタッフである私たちが何よりも大切にするもの—それは人間の尊厳である。特に緊急時においてこそ、弱者も強者も、若者も老人も、男性も女性も、一人ひとりが人間としての尊厳を持って扱われるべきである。

誰であっても人は尊敬(respect)と尊厳(dignity)をもって対応される権利を持っている。

* * * * *

私たちが村の指導者たちと、その地域において最も弱い立場にいる人が誰なのかを判断するのに時間を費やすことを非難する人もいるかもしれない。

しかし、これは最も支援を必要



としている人に一番先に支援が届くことを保証するために必要なのである。そうでなければ、力が強く声高に主張できる人がまず助けられることになってしまうだろう。

* * * * *

あるいは、私たちがケア・パッケージを渡す際に、一人ひとりの名前を記録し、受け取った人に署名をお願いすることを官僚的だと批判する人もいるかもしれない。

しかし、混乱を避け、コミュニティ内のトラブルを防ぐためには、配給を効率的に秩序ある方法で行うことが重要なのである。

* * * * *

人道支援に携わる私たちにとって、適切な方法で、支援を本当に必要としている人々に確実に支援がいきわたるよう責任を持って対応することが、地域の住民や私たちの活動をサポートしてくれるすべての人々に対する義務といえる。

それが人道支援に関わる団体としての私たちの自覚である。

【注】財団法人ケア・ジャパンは、世界最大級の国際協力 NGO ケア・インターナショナルのメンバーで、日本も戦後支援を受け、1948年から8年間、1000万人がケア・パッケージを受け取りました。現在はアジアで貧困の根源を解決する支援活動を行っており、スリランカでは、ヌワラエリヤを中心に、多くの問題を抱える紅茶農園居住者が自ら生活環境を改善していく過程を支援しています。

ケア・ジャパンでも被災地支援募金を募っています。詳しくは、そのホームページ(www.carejapan.org)をご覧ください。

募金窓口…募金を呼びかけている国際機関・NGO団体の一部です。詳しくは各々のホームページをご覧ください。

○国連難民高等弁務官事務所＝加入者名：HCR協会 郵便振替：00140-6-569575 通信欄に「津波」と記入

○国連世界食料計画＝加入者名：国連WFP協会 郵便振替：00290-8-37418 通信欄に「津波緊急」と記入

○国連児童基金＝加入者名：財団法人日本ユニセフ協会 郵便振替：00110-5-79500 通信欄に「スマトラ」と記入

○国際赤十字社

＝加入者名：日本赤十字社 郵便振替：00110-2-5606 通信欄に「アジア救援」と記入(スマトラ関係は3/31で終了)

○スリランカ大使館＝口座名：スリランカ大使館 当座：0825611 銀行名：東京三菱銀行広尾支店

○スリランカ関西西営総領事＝口座名：スリランカ地震災害募金 普通：4565764 銀行名：UFJ 銀行阪急梅田北支店

○ジャパンブラットフォーム(NGO、経済界、政府等で実施する国際人道支援システム)

＝口座名：スマトラ島沖地震義援金口 普通：0360832 銀行名：東京三菱銀行本店

○(財)ケア・ジャパン＝加入者名：財団法人ケア・ジャパン 郵便振替：00150-4-49006 通信欄に「津波」と記入

スマトラ島沖地震・津波被災地へ 皆さんの温かい支援を

昨年末のスマトラ島沖地震と津波により、友好都市のヌワラエリヤ市があるスリランカなど周辺諸国で約30万人が死亡・行方不明、新たに200万人が貧困層に転落する恐れがあると言われています。

このため、国際機関や国際協力NGOなどでは、現在も復旧支援の募金呼びかけをしています。皆さんの温かいご協力をお願いします。

ここでは、現地で被災者支援活動を進めている国際協力NGO(財)ケア・ジャパンの野口千歳事務局長に寄稿していただいた現地レポート(抄)を紹介します(写真撮影はハーシャ・ダ・シルバ氏)。

波に消えた病院と村

シンニヤ・キニヤ、キニヤ地区、トリンコマレ
＜2004年12月30日＞

シンニヤ・キニヤには1つしか病院がない。その病院が消えてしまった。中にいた人々とともに。生き残ったのは一人の医者だけだった。約145人の患者、10人ほどの看護婦とスタッフは皆、海にさらわれてしまった。幼い子どもも、妊婦も、そして病で寝込んでいた人も。本来なら、最も初めに救出されるべき人々である。

* * * * *

しかし、救出する時間などなかった。海沿いにあるこの村は、瞬く間に流されてしまったのだ。逃げる事ができた者はほんの数名である。体力があった者でさえ、予告もなく襲ってきた大きな津波から命からがら逃れた。

* * * * *

病院を訪問する途中、コンクリートの塀に囲まれた平地に案内された。何本かの木と雑草がところどころに生えており、牛がのんびりと草を食べている。あちらこちらに木でできた標(しるし)が植え



られており、誰かの墓であることがわかった。

* * * * *

同じ土地には、18メートル×6メートルほどの広さの新しく掘り起こされた跡があった。なぜか学校の机やいすが無造作に積み上げられている。ここに、400人以上の遺体がまとめて埋められているという。

当然、遺体が発見された人だけがこのようにお墓を作ってもらえるが、多くは海に流されてしまった。見つからない人々は、きちんとした埋葬してもらえない。

* * * * *

私たちは海岸沿いを村まで歩いた。マスクをつけたボランティアが腐敗し始めた動物の死体を処理していた。崩れ落ちた建物の下や木や茂みに絡まっている死体が見つかる可能性もなくはない。動物が焼かれる匂いとプラスチックが溶けて発生する黒い煙が私たちの進む道へと流れてきた。

病気に感染することの危険性について散々聞かされていた地域の人々が、リスクを小さくするために彼らが出来る限りのことをしているのである。

* * * * *

そこら中にいろいろな物の破片が転がっていた一家の一部だった。レンガ、コンクリートの壁の断片、恐らくベッドやいすの一部であつただろう木の板など。

それらにつまずかないように、

積み上げられたさまざまな残骸の山を避けて歩こうとすると、まっすぐ歩くようにと言われた。

* * * * *

どうやら、民族紛争時代の名残で近くに軍のセキュリティ・ポストがあり、周辺にはいまだに地雷が埋められているという。問題は、津波により、地雷の埋められている場所を示す地図まで流されてなくなってしまったことだ。

さらに悪いことには、水の勢いが強烈であったため、むき出しになっている地雷もあり、また、私たちの通りの道のほうまで移動してきてしまっているものもあるかもしれないということだ。



支援が人々の手元に届くまで

トリンコマレ、パティカロア州
＜2005年1月3日＞

津波が発生した数時間後には、住むところを失った被災者の中に入り、被害状況と彼らのニーズを調査するケアのスタッフの姿が見られた。お米、砂糖、ダール(豆)、飲料水などは生き延びるために必要不可欠である。また、身ぐるみひとつで逃げてきた人々には、サリーやサロン(衣服)、タオル、石鹸、マットなどが必要となる。

普段はこれらのものは近所の店で簡単に手に入るものであるが、今回のような大惨事の場合、何千、何万の単位で購入しなくてはならない。しかも、さまざまな援助団体が一斉に物資を調達すると国内

宇治市の新年度予算が成立

4年ぶりに咸陽市へ公式訪問団を派遣

宇治市の平成十七年度予算が、三月三十日に宇治市議会で可決され、成立しました。この内、宇治市の友好都市との交流事業の主な内容は、次のとおりです。

カムループス市関係

☆公式訪問団の来訪：第一面に記載のとおり、カムループス市の公式訪問団が宇治市に來られる予定。詳しい日程は、同市と調整中です。

☆中学生訪問団の派遣：宇治市中学生訪問団を例年どおり派遣。定員は市立中学校（九校）通学者から各校一人、国私立中学校通学者から一人の計十人。派遣内容は、カムループス市で三泊のホームステイ



▲一昨年のカムループス市公式訪問団
来訪時の交流会風景

と友好交流、その後はカナディアンロッキーマウンテン視察。実施時期は八月中旬下旬。五月ころの宇治市政だよりに掲載記事が掲載される予定です。

☆市民留學生の派遣：同市にあるカリブ大学が設けた奨学制度を利用して、宇治市民留學生を同大学に派遣。宇治市の推薦を受けて同大学に留学すると、一学期間（四カ月）の授業料が免除されます。推薦留學生の募集は、今秋の予定です。

なお、同大学は本年四月から、トンプソン・リバーズ大学（THOMPSON RIVERS UNIVERSITY）に名称変更されます。

咸陽市関係

☆公式訪問団の派遣：宇治市の公式訪問団を同市に派遣。実

施時期は同市と調整中です。

十三年度以来となるこの訪問団では、市民訪問団員の参加も予定されており、その募集は当協会で行う予定。募集の際は、宇治市政だよりでお知らせします。

☆公式訪問団の来訪：十六年度に引き続き、同市からの公式訪問団が宇治市に來られる予定。来訪時期は同市と調整中です。

ヌワエリヤ市関係

☆相互理解事業の実施：同市を多くの市民の皆さんに知っていただくための写真展を開催。時期・会場は未定です。

友好都市への交流訪問 希望団体はご相談を

当協会では、海外友好都市を訪問する協会加盟団体の訪問団に、補助金を交付します（過去に交付を受けた団体は除きます）。要件は、友好都市で二泊以



▲平成13年度宇治市咸陽市公式訪問団と咸陽市の
皆さんとの記念撮影

なお、十六年度には、ヌワエリヤ市の子どもたちが描いた、同市を紹介する絵の展示が行われており、宇治市では、その絵の貸し出しを行っています。

* * *

以上の内容についてのお問い合わせは、市秘書課の国際交流担当まで（電話二〇一八七〇一）。

上をし、現地で友好都市の皆さんと交流事業を実施する、十人以上で構成される訪問団であること。

十七年度実施分は既に締め切っています。十八年度に訪問を検討しようとお考えの団体は、気軽に協会事務局までお問い合わせください。

感 雑 観 雑

宇治ライオンズクラブが今年の六月十六日から二十二日まで、カムループス市を友好訪問します。

同クラブでは、一九九一（平成三）年十月七日に、同市のアバディーン・ライオンズクラブと姉妹提携を、同市内の他の六ライオンズクラブと友好提携を行いました。

その後は、同市を友好訪問し、友好と信頼を深めて来ましたが、途中、諸般の事情で、思うような交流が出来ない時期もありました。

そうした中で、今回ようやく機会を得ましたので、「友情・親善・相互理解の絆によって融和を図る」ことを目的として、訪問団を結成したものです。

同クラブのカムループス市訪問は、同市の各ライオンズクラブとの交流と友情を促進するものですが、これにより、宇治市と同市の交流そして市民間の絆を更に深めることにつながると、心から期待しています。